

算 数 通 信

テーマ：「授業実践」

松本先生（甲山小 2 年生）「⑮たし算とひき算」一図をつかって考えようの授業です。本時は、3/6時です。

▶ 教科書は、次のようになっています。

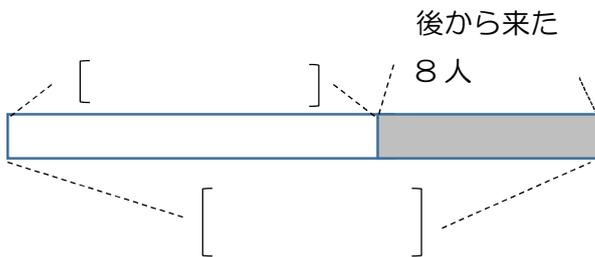
問題

教室に 何人か います。後から 8 人 来たので、みんなで 23 人 になりました。
はじめに 何人 いましたか。

めあて どんな計算になるか考えよう。

① □ の ことばを つかって、図を かんせい させましょう。

はじめに いた □ 人 みんなで 23 人



② 答えを もとめる しきと、答えを 書きましょう。

まとめ

ぜんたいと ぶんぶん に ちゅう目して 図を見ると、たし算になるか ひき算になるかが よく わかるよね。

テープ図のかき方 2年生にどこまで求められるのかがわからないのですが、問題文に出てくる順にテープ図に書き込んでいく指導は、無理でしょうか？

- ①教室に何人かします・・・□ 人
- ②後から8人来た
- ③みんなで23人

テープ図

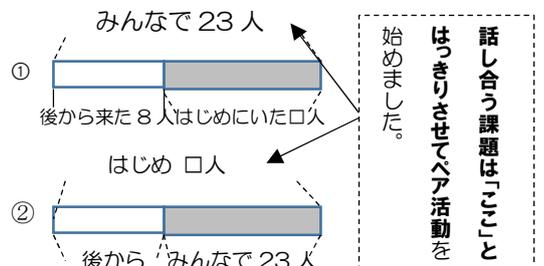
▶ ○が授業の様子、●は教材についてです。

● 問題文を読んで、この問題の数量関係が読み取れるでしょうか。特に、「教室に何人かいます」と「はじめに何人」は同じであることを、念のため確かめておきたいです。

○ 授業者の先生は、教科書を閉じさせたままの状態授業を始められました。先生が白いテープ図を黒板に貼られると、子どもたちはすぐ、ノートにテープ図を書いていました。よく育てられていると思いました。

○ 書けた子は、自分から交流する相手を見つけます。輪はどんどん広がっていました。自然な学びの姿でした。

○ 先生は2人を指名し、図を比べました。



○ 子どもたちが、自分の考えを言い始めました。

・②だと、はじめにいた人が23人になる。

・①だと、「教室に何人かいました。後から8人来たので、みんなで23人になりました」になる。

○ 図の妥当性を、問題文と照らし合わせる見方をしています。

○ 途中、子どもたちの様子を見て、絵に描いて問題を確認する支援もタイミングよく行われました。

○ まとめでは、「ぜんたい」「ぶんぶん」という言葉が、子どもたちから次々出され、子どもたちの発言から学習がつながっていることがわかりました。

○ 落ち着いて考える子どもたちが育っています。

この指導も大事 テープ図をかいたら、もんだい文と あっているか かならず たしかめ しましょう。